

議案第 65 号関連資料

地域医療のあり方検討にかかる調査委託について

急速な少子高齢化に伴う疾病構造の多様化、医療技術の進歩など、医療を取り巻く環境が変化する中で、将来を見据えて、市民の安心を支える医療提供体制のあり方や、その中核となる明石市立市民病院の担うべき役割などを検討するため、庁内の幅広い部署からなる「地域医療のあり方検討プロジェクトチーム」を設置しました。

検討を進めていくにあたって、地域医療の現状把握や将来予測、市民病院の整備手法別の事業収支シミュレーションなどにおいて、専門的な見地からの精密な調査やデータ分析が必要であり、その分野に精通したコンサルティング業者に下記のとおり調査業務を委託しようとするものです。

記

1 業務委託概要

(1) おもな調査業務

① 市内全域の地域医療の現状把握と分析（外部環境分析）

医療保険のレセプトデータ等による受療動向や将来医療需要分析など

② 明石市立市民病院の現状・課題整理および今後担うべき役割等の検討（内部環境分析）

患者確保経路や患者構成等のデータ分析、地域連携状況分析、収支構造分析、病床規模や医療機能の検討、整備手法別の事業収支シミュレーションなど

(2) 公募方法

プロポーザル方式

(3) 契約期間

契約締結日～令和6年3月31日

2 補正予算額

13,400千円

<参考>

「地域医療のあり方検討プロジェクトチーム」の概要

1 主な検討事項

- (1) 市内全域における地域医療のあり方についての検証
- (2) 市民病院の現状把握や課題整理及び今後担うべき役割等の検討
- (3) 医療ニーズの把握、将来推計、市民病院の長期収支・回収計画等の経営及び財政面における検討

2 構成員

福祉局保健部長をチームリーダーに、政策局、総務局、福祉局、消防局等の庁内関係部署から選定して構成（明石市立市民病院の職員もオブザーバーとして参加）

3 検討スケジュール（予定）

令和5年7月	プロジェクトチームの設置
令和5年7月～令和6年1月	調査・検討
令和6年2月	報告書とりまとめ
令和6年3月	文教厚生常任委員会にて報告